

**学校法人 福原学園
平成26年度事業計画**

平成26年3月

目 次

I. はじめに

II. 事業の概要

1. 九州共立大学	1
(1) 教育活動の充実	
(2) 学生支援の充実	
(3) 大学運営の強化	
(4) 重点取組業務	
2. 九州女子大学・九州女子短期大学	4
(1) 教育活動の充実	
(2) 学生支援の充実	
(3) 大学運営の強化	
3. 自由ヶ丘高等学校	7
(1) 教師の資質向上および組織的教育力の充実	
(2) 部活動の充実	
(3) 募集活動および地域社会との連携強化	
4. 九州女子大学附属幼稚園	9
(1) 折尾幼稚園	
(2) 自由ヶ丘幼稚園	
(3) 鞍手幼稚園	
5. 管理運営	12
(1) 組織改革	
(2) 人員体制	
(3) 制度改革	
(4) 省エネおよび節電対策の推進	
(5) IRデータによる改善・改革の支援	
(6) 教育研究環境の整備	

I. はじめに

福原学園は、建学の精神である「自律処行」の理念に基づき、平成20年度に策定した「福原学園設置大学中期計画(6ヶ年)」、および平成22年度に策定した「中期財政計画(4ヶ年)」が昨年度で最終年度を迎えた。このことから、前計画で積み残した課題や、新たな改革・施策に着手する「福原学園第2次中期計画(5ヶ年)」、および「福原学園第2次中期財政計画(5ヶ年)」を策定し、本年度から、両計画を履行するものである。

II. 事業の概要

1. 九州共立大学

九州共立大学は、「社会に適応できる自立した職業人を養成する大学を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動し、知識基盤社会で活躍し得る教養と課題追求能力・総合的判断能力・問題処理能力を併せ持つ真摯な学生を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育活動の充実、(2)学生支援の充実、(3)大学運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1)教育活動の充実

職業人養成教育大学として、資格・免許取得を学修成果とし、学生の質に応じた教育活動を展開するとともに、教育活動に基づく研究を展開する。

1) 特色ある教育課程の編成

①経済学部ICTバリアフリー化パイロット事業の展開

ICT(情報通信技術)を活用した情報教育を推進するため、無線LANの環境を試験的に整備し、学生の日常的なICTの利用方法等を検討するとともに、少人数授業においてICTを活用する。

②アドベンチャー教育プログラムの導入

学生の仲間作りを促進するため、他大学が実施している体験型教育プログラムを調査・検討し、本学独自のアドベンチャー教育プログラム計画を策定する。

③経済学部の教育課程改革の実施

初年次教育体制を充実させ、ホームクラス制を導入するとともに、資格取得を重視した教育課程の再編を検討する。

④スポーツ学部の教育課程改革の実施

学生の進路に対応した教育課程の再編を検討するとともに、新学科設置に係る教育課程編成等を検討する。

⑤共同実施制度による大学院研究科の設置

大学院担当教員の教育研究業績を検証するとともに、教育課程等を検討する。

2) 学修成果を重視した教育課程の強化

①組織的・体系的な教育課程の質的転換への取り組み

教員の授業改善、資質向上を図るため、全学的なFD活動を実施するとともに、授業改善マニュアルとなる「FDハンドブック」の発刊を検討する。また、小グループ単位での自主的なFD活動の検討、授業計画(シラバス)の点検・見直し等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]: 授業評価アンケート評価4.0以上キープ 4.0以上
ハンドブックの継続発行(年1回) 1回

②教育力向上成果について全学的な検証評価体制の確立

教育課程における諸活動についての点検・評価、点検評価結果に基づく改革・改善方法の検討・指示、教育業績の評価の仕組み作りの検討、ならびにPDCAサイクルの循環状況の検証を実施する。

3) 免許・資格取得支援の強化

①公務員試験対策の充実(経済学部)

試験対策計画の立案、勉強会、模擬試験、ならびに個別面談等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公務員試験の合格者数 8人

②公務員試験対策の充実(スポーツ学部)

勉強会、指導講話、視察研修、ならびに合宿研修等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公務員試験の合格者数 25人

③アスレティックトレーナー(AT)の資格対策の充実

実技・筆記対策講座、ならびにプロ・実業団チームトレーナーとの交流等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生参加者数 20人 現役合格者数 1人

④健康運動指導者の試験対策の充実

eラーニングテストの導入、学生の将来設計(運動指導・運動処方)に応じた実習施設への斡旋等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：資格試験(健康運動指導士)合格率 60%

⑤保健体育科教員の試験対策の充実

試験対策計画の立案、試験対策、教員養成セミナー、ならびに研究会等への参加・情報収集等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：合格者数 5人 学生参加者数 200人

(2) 学生支援の充実

教職員と学生とのコミュニケーションの活性化を図るとともに学生支援体制を充実し、学生の満足度を向上させる。また、海外協定校との国際交流を促進する。

1) 学生支援の強化

①大学祭の活性化および地域への社会貢献の推進

計画の立案、定例会の開催、折尾まつりへの協力、ならびに地域交流企画を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：模擬店の出店数 30件

②SNSを活用した新入生の交流促進

新入生の入学前からの仲間作りを促進するため、新入生を対象としたfacebookプロジェクトチームを結成し、運営事項等を検討する。

③文化系サークル団体設立の推進

計画の立案、文化系サークル増加に係る検討体制の整備、ならびに他大学の活動状況調査等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：設立サークル数 2件

2) 就業力育成支援の強化

①卒業後の進路先と連携した課題解決型インターンシップの実施

実行部会の立上げ、事前研修、課題解決型インターンシップ、ならびに事後研修等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：課題解決型インターンシップ参加者数 5人

②就職支援対策の充実

面接指導の強化、学内個別会社説明会、ならびにOB・OG・内定学生との座談会等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：面接指導学生参加者数 200人 学内個別会社説明会学生参加者数 80人
サポート利用者数 72人

3) 国際交流支援の強化

①海外協定校からの短期留学生の受入れ人数の増加

国内他大学の受入状況の調査、本学クラブ・サークルに対するスポーツ留学生受入希望調査、ならびに留学生受入寮の設備の充実と受入体制の整備等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：短期留学生受入人数 7人 短期留学生派遣人数 4人

(3) 大学運営の強化

教育研究部門と管理運営部門との協働体制を確立し、効果的な組織運営を行い、組織の活性化を図る。また、大学の特色を伝える戦略的な募集活動を展開する。

1) 大学運営組織体制の強化

①IR推進タスクフォースの活動を中心とした改革諸事業への支援

各所属課が所有する諸データの収集と管理に加え、学修成果の質的転換に資する分析等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：データ分析結果の報告件数 5件

2) 教職員相互信頼の強化

①委員会組織の改編ならびに事務組織における所掌事務の見直し

事務組織の見直し、教学の管理運営体制の再編に係る検証、ならびに各課所掌事務の見直し等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：主要委員会の統合数(スリム化数) 1件

3) 戦略的募集広報の強化

①入試制度の点検と見直し

平成26年度入試結果の分析と検証、ならびに受験者と入学者の学力レベルが分析できる入試関連基本データの策定に向けて検討する。

②本学の強みに主眼をおいた高校向け広報を強化

出前講義、オープンキャンパス、ならびに大学見学等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：出前講義の数 20件

(4) 重点取組業務

①九州共立大学創立50周年に向けた各種記念事業の計画立案と準備

平成27年度に創立50周年を迎えるにあたり、記念事業準備委員会を設置し、当委員会のもとに記念式典・祝賀会実行委員会、記念式典・祝賀会実行部会、創立50周年記念誌編集委員会を立ち上げ、検討を進める。

2. 九州女子大学・九州女子短期大学

九州女子大学・九州女子短期大学は、「地域に根差した実践教育を展開する大学を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動し、社会の期待に応えられる基礎的・汎用的能力を併せ持つ、強くてしなやかな女性を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育活動の充実、(2)学生支援の充実、(3)大学運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1)教育活動の充実

学生への丁寧な教育と質の高い教育活動を行い、地域社会の核となる実践教育を展開するとともに、教育活動に基づく研究を展開する。

1)地域社会との連携の強化

①地域社会のニーズに応じた「知」の提供

地域社会との連携強化を図るため、「学生の質保証の強化」、「大学の研究機能の活用」、「地域社会との共生」の3つの柱を掲げ、地域連携事業のあり方を検討し、平成27年度の大学教育再生加速プログラム(AP)申請に向けて対応する。

2)教育活動の質の転換および質保証の強化

①教育課程の体系化が俯瞰できるカリキュラムツリー等の作成および公表

教育課程体系の可視化、授業計画への利活用および教育情報の公表を実施するため、大学全体、学科・専攻単位の学位授与方針の見直しを図り、学生が理解しやすいカリキュラムマップ、科目ナンバリング、ならびにカリキュラムツリーを策定する。

②学修成果の測定・評価における評価方法・指標の検討および適用

学生の学修成果を把握するため、アセスメントテストの実施、授業科目における汎用的能力を評価するためのルーブリック活用の把握等を実施する。

③教員間の連携と協力による授業等の組織的教育の実施

教育の質的転換に教員が主体的に参画するため、同一領域の教員間における共通テキストの作成、授業計画(シラバス)の内容、授業方法、ならびに成績評価基準等を検討する。

④家政学部の教育組織改革の実施

学生への指導体制等を充実させるため、学修成果を念頭においた教育課程等の検証を行うとともに、学部学科構成を検証し、改組の方向性を検討する。

⑤人間科学部の教育課程改革の実施

学部の免許・資格取得状況および学生の科目履修状況等を検証するとともに、教員免許を重視した教育課程の再編を検討する。

⑥共同実施制度による大学院研究科の設置

大学院担当教員の教育研究業績を検証するとともに、教育課程等を検討する。

3)免許・資格取得支援の強化

①教員採用試験総合対策(人間生活学科)

試験対策計画の立案、模擬試験、試験後の事後指導、事後講習会・個人面談、集団討論・面接セミナー、二次試験対策セミナー、ならびに模擬授業対策セミナー等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]: 公立中・高(家庭)教員採用一次試験合格者数 1人

②管理栄養士国家試験総合対策(栄養学科)

試験対策計画の立案、国家試験対策、栄養士認定試験、個別面談、ならびに国家試験対策と栄養士認定試験結果の検証を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：管理栄養士国家試験受験率 100%
管理栄養士国家試験合格率 90%

③教員採用試験・保育者採用総合対策(人間発達学専攻)

教員採用試験対策について、外部機関による委託講座、ならびに教採模擬試験を実施するとともに、幼稚園・保育園採用試験対策について、試験対策計画の立案、セミナー、模擬試験、ならびに個別面談等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立小学校・特別支援学校教員採用試験合格者数 18人
国公立幼稚園・保育園採用試験合格者数 2人

④教員採用試験・一般企業採用総合対策(人間基礎学専攻)

試験対策計画の立案、教員採用対策講座・ITパスポート対策講座、模擬試験、ならびに模擬試験事後指導等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立中・高(国語)および高(書道・情報)教員採用試験合格者数 1人
国家試験(ITパスポート)合格率 30%

⑤教員採用試験総合対策(子ども健康学科)

教員採用一次試験対策、教員採用二次試験対策、模擬試験、ならびに試験後の事後指導等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立幼稚園・養護教員採用一次試験合格者数 3人
公立幼稚園・養護教員採用二次試験合格者数 1人

⑥教員採用試験総合対策(専攻科)

教員採用一次試験対策、教員採用二次試験対策、模擬試験、ならびに試験後の事後指導等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公立養護教員採用一次試験合格者数 9人
公立養護教員採用二次試験合格者数 1人

(2) 学生支援の充実

社会で通用する汎用的能力の強化を図るとともに多様化したニーズに対しての学生サービスを提供し、学生の満足度を向上させる。また、海外協定校との国際交流を促進する。

1) 学生サービスの強化

①学生サポートを全学組織的に行うための学生カルテシステム(仮称)の導入

学生自身による学生生活の「振り返り」を重視した組織的な学生支援を行うため、学生のレベルに応じた就職指導や職種別の就職成功例のモデルケース「九女モデルスタイル」の構築に向けた、学生カルテシステム導入について検討する。

②就職に必要とする汎用的能力育成のための支援

学生個人への就職支援、キャリア形成支援事業を推進するため、学内に専門会議を発足させ、学生ジョブコーチの育成を中心とした研修・課題解決型ワークショップ等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生ジョブコーチ登録者数 20人

③図書館による各種学習支援講座の充実

初年次教育・図書館情報リテラシー教育、レファレンス・サービス(個別学習相談)の分析、ならびに図書館活用教育を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：年間開講講座数 92回 学生1人当たり年間受講率 110%

2) 国際交流システムの構築

① 国際交流の促進による留学生支援の強化および相互交流の拡大

留学生生活アンケート予備調査、学生間自主交流組織の実施計画案の作成、ならびに留学生に対する学内寮の斡旋を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：留学生生活アンケートによる留学生満足度 60%

(3) 大学運営の強化

教育研究部門と管理運営部門との協働体制を確立し、効果的な組織運営を行い、組織の活性化を図る。また、大学の特色を伝える戦略的な募集活動を展開する。

1) 大学運営組織体制の強化

① 学修成果測定のための全学的な各種アンケート調査などIR機能の整備

大学ポートレート(仮称)私学版への対応、学修に関するアンケート調査の把握、ならびに次回短大認証評価受審に向けた各種データの収集等を実施する。

② 各種委員会の機能強化と整備

学長、学部長のガバナンス強化を図るため、管理職が構成メンバーである部局長等連絡調整会議の機能強化、部局長会議規程に基づく部会設置の検討、ならびに各種委員会の運営実態の把握・対応を実施する。

③ 改革を支える事務職員の能力向上への支援

本学独自のスタッフ・ディベロップメントにより事務職員の能力開発・向上を図り、教職協働の実践に資するため、学内研修会、学外研修会への参加、ならびに研修報告の共有化等を実施する。

2) 戦略的入試・募集広報の強化

① ステークホルダー向けの模擬授業・公開講座等の実施

模擬授業等のニーズ調査、基本計画案の作成、実施計画案の作成、ならびに模擬授業・公開講座等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：模擬授業等の参加者数 30人 模擬授業等の参加者満足度 70%

② 現連携校との新たな連携方法の構築および連携校の拡大

連携希望および連携方法等のニーズ調査、調査結果に基づく基本計画の作成、ならびに新規連携高校との各種連携等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：連携校からの入学者数 15人

3. 自由ヶ丘高等学校

自由ヶ丘高等学校は、「すべての生徒一人ひとりのために教育を行う高校を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、「人間開発」、「学力開発」を基軸とし、知(確かな学力)・徳(豊かな人間性)・体(健康と体力)の調和のとれた豊かな人間性を養い、社会を生き抜くことのできる人材を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教師の資質向上および組織的教育力の充実、(2)部活動の充実、(3)募集活動および地域社会との連携強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1)教師の資質向上および組織的教育力の充実

自己評価、校内研修等を通して、教師としての実践的指導力、その基盤となる豊かな教養および専門的知識の向上を図る。また、生徒の夢を実現させるべく、希望進路に応じた組織的教育活動を展開する。

1)効果的・組織的な教育活動の推進

①生徒の学力・進路等に対応した具体的・計画的な運営および実施

生徒の学力や希望進路に沿った授業を展開し、質の高い授業を実施するため、教科ごとのシラバス(授業計画)を作成し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]: コース・クラス別シラバス(学習指導計画)の作成 1学年分

②実践的指導力の充実

校内外の研修会を通して、自己研鑽を積み、卓越した指導力のある教員集団を作り上げ、授業満足度を高めるため、計画的な研修会を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]: 授業満足度アンケートの評価ポイントの上昇 17.0ポイント

③授業時間の適切な配分(確保)

授業と教育効果のある行事を精選して、「知育」「徳育」「体育」のバランスのとれた教育活動を推進するため、授業実施計画の作成、ならびに点検・評価を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]: 各コース・クラスごとに作成した年間授業実施計画の100%実施 100%

2)教科指導の充実

①教科別授業研究の実施

生徒の実態に即し、コース・クラスに応じた適切な教科指導を行うとともに、教員が自己研鑽を積み、資質向上を図るため、年間を通じた授業計画を策定し、各教科・科目ごとの授業研究を実施する。

3)受験対策指導の強化

①小論文・面接・討論など多様な入試に対応できる生徒の育成

国公立大学推薦入試の進路実績の向上を図るため、大学推薦入試対策に係る計画の立案、総合学習を利用したキャリア教育、ならびにボランティア活動とインターンシップへの参加推進等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]: 国公立大学推薦入試合格者数 20人

②校外模試成績分析と情報共有による受験指導の強化

国公立大学一般入試の進路実績の向上を図るため、進路企画会議、校外模擬試験(進研模試)、ならびに模擬試験分析会等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]: 国公立大学一般入試合格者数 80人

(2) 部活動の充実

主体的に行動できるリーダーを育成し、文武両道の活力に満ちた学校づくりを行うため、部活動の活性化を図る。

1) 部活動の活性化

① 部活動加入率の向上

文武両道の活力に満ちた学校づくりを推進するため、部活動指導の立案、部活動加入者募集、ならびに特待生審議委員会等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：部活動加入率 65%

(3) 募集活動および地域社会との連携強化

高校の特色を伝える効果的募集活動を展開する。また、地域に根差し地域に開かれ信頼される学校づくりを行う。

1) 戦略的広報活動の推進

① キャンパスツアーの開催

中学生・保護者・中学校・塾等を対象としたキャンパスツアーの企画、ならびにリーフレット・ポスターの作成を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：キャンパスツアーの参加者数 2,000人

② 中学校・塾への広報活動の充実

中学校・塾主催の学校説明会、出前授業、ならびにPTAの高校訪問について広報活動を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：〈中学校主催〉学校説明会への参加校数 50校
〈中学校主催〉出前授業への講座数 11回
〈塾 主 催〉学校説明会・出前授業への参加校数 11校
〈P T A〉高校訪問参加者数 250人

③ 戦略的募集計画の立案に資する調査・分析の実施

キャンパスツアー・PTA・中学生の学校訪問・塾対象学校説明会等におけるアンケート調査結果分析、ならびに中学校や塾における学校説明会・出前授業の外部情報のデータ分析を実施し、平成27年度入試に向けて効果的な募集計画を立案する。

2) 地域貢献活動、ボランティア活動の推進

① パソコン公開講座の実施、インターアクトクラブを中心としたボランティア活動への参加

活動計画の立案、パソコン公開講座、ならびにインターアクトクラブ(社会奉仕クラブ)を中心としたボランティア活動への参加者募集と活動を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：公開講座の参加者数 60人 ボランティア活動の参加者数 200人

4. 九州女子大学附属幼稚園

九州女子大学附属幼稚園は、「健全な幼児教育を行う幼稚園を目指す」ことを使命として掲げるとともに、育成方針を、義務教育およびその後の教育の基礎を培い、心身ともに健やかな幼児を育成することとしている。この使命・育成方針を達成するため、1) 保育内容の充実、2) 大学・地域との連携、3) 幼稚園運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

(1) 折尾幼稚園

1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

① 保育スキルの向上

園や教員などの「自律性」を確保し、日常的な保育活動を充実させるため、園内研修の在り方を検証し、効果的な研修計画を立案したうえで、研修会を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園内研修の実施回数 6回

② カリキュラムの充実

「自ら～する」という自主性、主体性、自律性を育む教育が保護者に共通理解されているかの検証を行うため、保護者に対するアンケートを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：保護者の満足度数(5点満点) 3.2点

2) 大学・地域との連携

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

① 地域の福祉施設等との連携

地域住民との双方向によるイベントへの参加を通して、特色ある折尾幼稚園像の定着化を図るため、開催イベント等の調整、参加促進方法の検討、ならびに連携計画を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域との連携回数 4回

② 大学・地域のイベント等への参加

大学・地域のイベントへの積極的な参加を通して、相互の信頼関係の構築を図るため、イベント等の実態調査、年間スケジュールの調整、担当者間の話し合い、ならびに計画的なイベント等への参加を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：イベント等への参加回数 4回

③ 大学教員との連携

大学教員との連携に基づく講習会等を通して、教員の質の向上を図るため、保育現場での課題把握、大学教員のリサーチ、担当者間の協議、ならびに連携計画の企画を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：大学教員との連携回数 4回

④ 学生との連携

学生のイベント等への参加を促進し、学生との共働を通して、幼児教育の在り方について共通理解を深めるため、現状把握、ニーズ確認、年間スケジュールの調整、ならびに連携計画の企画を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生との連携回数 5回

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

①未就園児教室の充実

昨年度プログラムの見直し、参加促進方法の検討、参加者が触れ合い共感できる仕組み作り、ならびに新企画の検討を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：未就園児教室参加者数(延べ) 660人

②ホームページ等による広報活動の推進

ホームページ等の見直し、ニーズの把握、他園ホームページ等による情報収集、広報媒体の検討、ならびにホームページアクセス件数増加に向けた新企画の検討を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページアクセス件数 9,700件

③幼小連携プログラムの策定

昨年度プログラムの見直し、実態調査、幼小連携プログラム策定に向けた検討、ならびに幼小連絡会等を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：幼小連絡会実施回数 3回

(2) 自由ヶ丘幼稚園

1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

①保育の質の向上

計画的な研修を実施するため、PDCAサイクルの確立、全体研修会、ならびに計画的研修(個人研修)の推進を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研修会への参加回数 56回

②思いやりの心の育ち

絵本の読み聞かせを通して、豊かな感性を養うため、読書カリキュラムの作成、定期的な読み聞かせ、ならびに各学年のお勧め図書の選定・購入を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：読み聞かせ(1クラス)冊数 100冊

2) 大学・地域との連携

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

①地域との交流の推進

地域に信頼され、支持される園づくりのため、計画の立案、田植え、稲刈り、ならびに餅つきを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域との交流回数 2回

②大学教員との連携による保育の質の向上

設置大学と連携し、体操教室の実施を通して体を動かすことが大好きな子どもを育てるとともに英語教室の実施を通して異文化に親しむことを目的に、体操教室、リトミック教室、英語教室、就学前プログラム検討、ならびに幼小連携研修を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：体操教室、英語教室の実施回数 100回

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

①未就園児教室の充実

昨年度プログラムの見直し、参加促進方法についての検討、ならびに参加者が触れ合える仕組みなど新企画の検討を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：未就園児教室の参加者数(延べ) 900人

②保護者に信頼される園づくり

保護者に対し、園の方針やタイムリーな情報発信に努め、保護者の満足度を高めるため、ホームページの更新・意見聴集、ならびに次年度の更新内容の検討を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：保護者の満足度 80%

(3) 鞍手幼稚園

1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

①保育力を高める理論と実践の研究

園全体の保育スキルを向上し、日々の保育に還元するため、計画的な研修、ならびに保育成果の分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園内研修の実施回数 9回 園外研修の実施回数 5回

②体験型保育の充実

園の教育方針である「命の大切さ、優しい心」、「素直に感動し、豊かな心」を育み、小学校以降の教育基盤を作るため、計画的な体験型保育、ならびに保育成果の分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：体験型保育の実施回数 30回

2) 大学・地域との連携

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

①地域との連携・交流

異年齢交流や美術展への参加を通して、仲間意識や優しさを育むため、計画的な保育の開催、ならびに交流成果の分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域と連携・交流会回数 10回

②大学教員・学生と幼稚園とのコラボレーション

附属幼稚園の特性を生かし、設置大学との交流を通して、保育内容を強化するため、計画的な連携、ならびに成果分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：大学教員・学生と幼稚園との連携回数 10回

3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

①未就園児教室の充実

計画的な未就園児教室の開催、ならびに成果分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：未就園児教室の参加者数 720人

②広報活動の充実

行事保育や日々の子どもの様子を保護者に発信するとともに、園に興味を持つ方々への情報発信として、ホームページとfacebookの更新、ならびに成果分析・改善を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページアクセス件数 35千回 facebookアクセス件数 70千回

5. 管理運営

(1) 組織改革

①意思決定システムの改善

法人事務局、および設置校における専決事項を見直し、決裁手続きの簡素化と事務の効率化を図るため、現状分析・課題抽出のうえ、決裁権の委譲について検討する。

②事務組織の統廃合

効率化とサービス機能の充実を両立させた事務組織を構築するため、管理部門の部分再編、ならびに直接部門再編の検討等を実施する。

(2) 人員体制

①適正な教員体制の構築

設置基準等を基本とする必要最小限数の教員体制を構築するため、教員1人当たりの学生数および専任教員比率等を考慮し、適切な教員配置について検討する。

②生産性の高い事務職員体制

少数精鋭な人員体制にスリム化するとともに適正な年齢構成を再構築するため、臨時職員・パート職員の業務見直し、新卒者の定期採用ならびに定期的な人事異動による人材育成や人事の活性化について検討する。

(3) 制度改革

①人事総合制度の構築と定着化

導入済み制度(自己申告制度・研修制度)の整備・再構築、ならびに平成26年度から導入する制度(等級資格制度・昇任昇格制度・管理職登用制度)の運用・部分的な見直しを実施する。

(4) 省エネおよび節電対策の推進

①エネルギー使用量1%削減の継続

光熱水費使用量の点検・報告、省エネパトロール、ならびに遮熱シートの貼付を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：前年度比1%エネルギー消費の低減 前年比-1%

(5) IRデータによる改善・改革の支援

①IRデータの調査・分析による改善・改革の支援

大学内外の様々な情報(データ)を収集・分析し、組織的な管理を行うとともに、客観的なデータに基づく評価を、教育、研究、学生支援、経営等に活用し、大学教育の質保証を図るため、IR委員会の定期開催、ならびにデータの分析結果に基づいた、問題点・課題点の改善・改革について検討する。

(6) 教育研究環境の整備

①九州女子大学・九州女子短期大学新棟の建設

九州女子大学・九州女子短期大学本館は、建設から56年が経過し、経年劣化による老朽化、および耐震問題等、建替えの必要性があるため、本年度から新棟建設に着工する。

②学園設置大学の耐震補強工事

九州共立大学図書館、九州女子大学・九州女子短期大学練成館の耐震補強工事、
ならびに九州女子大学・九州女子短期大学思静館の耐震設計業務を実施する。

③学園校舎等の施設維持工事

九州共立大学図書館便所改修工事、福秀寮給排水工事ならびに九州女子大学・九州女子短期大学図書館便所改修工事、耕雲館空調工事を実施する。また、九州共立大学スポーツ学部新学科設置に伴う、深耕館の再利用計画について検討する。